

事業者等向け

放課後等デイサービス評価表

児童デイサービスすきっぷADVANCE 提出5名

2021年2月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・定員10名に対し、基準に沿ったスペースを確保している。	基準に沿ったスペースを確保されている。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%			・満たしている。	配置基準は満たされている。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		100%		・一部バリアフリーでない場所がある。 ・危険認知を高める為にもバリアフリーにはしていない。	現状の利用児には、必要性を感じない。安易なバリアフリー化は、できる・やれる子どものスキルを低下させてしまう恐れもある為、必要性を感じた場合はその都度協議を行っていく。
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			・施設内研修や朝・昼会等、職員間でミーティングを行っている。 ・施設内研修やミーティング等で職員間での話し合いの場を増やし、業務改善に繋げている。	毎日の朝会、昼会ミーティングを通して、スタッフとの意見交換を実施し、事業所内研修を行って。また、全スタッフから必ず発言するようにルールを設け進行している。今後もより精度を高めていく。
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・評価表の結果を踏まえて意向を把握し、改善に繋げている。	保護者向け評価表の結果を基に対応策をスタッフ全員で話し合い、業務改善に繋がるよう意識している。
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・実施している。	玄関の掲示とホームページでの公開をしている。

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていないが、内部監査で業務改善に繋げている。 ・内部監査が定期的に行われている。 	重要事項説明書にも記載しているが、第三者による外部評価は行っていない。今後、必要に応じて検討していく。ただし、保護者に対してはアンケート調査を実施して意見をもらい、業務改善へ繋げている。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・実施している。 ・社内での研修を行い、資質向上に努めている。 	今後も施設内研修や法人研修を実施し、人材育成に取り組んでいく。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・作成している。 ・日々の様子から検証し、計画に反映されている。 	面談等を通して、保護者のニーズや子どもの課題を考慮して作成している。またモニタリングにてスタッフ全体で子どもに対して、どのような支援が必要か模索し、提案していく。
⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・全利用児統一したものを使用している。モニタリング時や必要に応じて追記を行っている。 	統一したツールを使用し、必要に応じて追記を行っている。また、新規の方が来た際にはアセスメントシートを回覧し共通認識を図っている。
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや話し合いを日々行っている。 	毎月1日にミーティングを行い、全体で話し合う機会を設けている。
⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化にならない様、新しい活動を模索している。 	体育館使用日等、一部固定の活動もあるが、極力曜日固定を行わないことで、利用児が様々な活動に参加出来るよう配慮している。今後も固定化しないよう活動内容を模索していく。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・休業日は「ねらい」を設定した活動を計画し、事前打ち合わせも綿密に行っている。 	休日、長期休暇には外出支援や平日では時間的に厳しい活動を取り入れ「ねらい」を設定し支援している。

切な支援の提供	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・子ども一人ひとりに合わせ、組み合わせている。	子どもに合わせて、集団活動の中での個別対応を適宜組み合わせ計画を作成している。
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・朝会にて確認を行っているが、当日になって準備が間に合っていないことが発覚し、慌ててしまうことがあった。	朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について確認を行っている。
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・当日に振り返りの時間を設けていないが、翌日朝会にて行っている。 ・当日起きたことに関しては、当日報告する様指導を受けているが忘れてしまうことがある。	当日は送迎や業務終了時刻が異なる為、厳しい場合が多いが必ず気づいた点は、施設長に報告し、翌日の朝会にて取り上げ共有している。
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・ケース記録に記載している。 ・変化や様子等気づいた事を記録している。	業務日誌、ケース記録を作成し、記録を残している。また、いつでも目を通せるよう保管し支援の検証・改善に繋げている。更に精度を高めていく。
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	子ども1人に対し、半年毎にスタッフ全員でモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断している。
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			・複数組み合わせている。	適宜組み合わせで行っている。定期的にガイドラインを確認している。
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・引き続き行っていく。	担当者会議に参画する場合は必ず事前にミーティングを行い、その子どもの状況を確認した上で、施設長又は児発管が参画している。	

関係機関や保護者との連携	⑳学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・連携を常に行っている。 ・急遽、下校時刻が変更になった際など直接学校から連絡を頂き対応する場合がある。 	送迎時に学校での様子を引き継ぎ、必要に応じて電話や面談等を通し共通理解ができるよう努めている。
	㉑医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			100%	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が必要なケアは該当しない。 ・該当なし。 	医療ケアが必要な子どもを受け入れていない為、該当しない。
	㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・必要性があれば情報共有を行っている。 	就学後利用開始している利用児にはそこまでなされていないが、保護者からのご依頼や同意を頂けた場合は対応していく。
	㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・今まで移行した児童がいない。 ・今のところ該当者なし。 	現在、該当利用児はいないが、今後該当した場合は、保護者様の意向に沿って対応していく。
	㉔児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関での研修は受けていない。 ・助言はあるが、研修は受けていない。 	今後もケース会議や地域参観等へ積極的に参加します。また、必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。
	㉕放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・外出活動をしている。 	スキー支援やスキー級別テスト、体験外出の機会を設けている。引き続き、このような機会を多く設定していくと共に、今年度からTボールの練習試合等にも参加の機会を設けていく。
	㉖(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%		60%	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会へは参加していない。 	要請や必要性を感じた場合は参加を検討していく。

	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・その日の様子を伝え、保護者様より普段の様子で変わったことがないか等聞いている。	今後も、送迎時の会話や連絡ノート、また電話、面談等を通し共通理解ができるよう努めていく。
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			・個別でアドバイス等を行っている。	安易な対応やアドバイスはトラブルに繋がる為、児発管や施設長が必要に応じ個別で行っている。集団でのペアレント・トレーニングは行っていない。今後、専門的機関を含めたペアレント・トレーニングも視野に入れていく。
保護者への説明責任等	㉒ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・実施されている。 ・契約時に説明している。	契約時において、施設パンフレット・相談受付に基づき、利用にあたっての説明を行っている。今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。
	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・必要に応じてアドバイス、助言を行っている。 ・勝手な判断はしない様指導を受けている為、一度施設に持ち帰り共通認識を図っている。	保護者様からご相談を受けた際は、安易に簡単な言葉を返さない様、時間を設け対応している。また、必要に応じて助言や気持ちの受け入れ先になれる様、寄り添っていく。
	㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・今年度は新型コロナウイルスの影響で何もできなかった。 ・親子参加型のイベントは子ども達との関わりを保護者の方に見て頂く良い機会なので、企画していきたい。	新型コロナウイルスの影響により、懇親会や親子参加型のイベントは自粛を余儀なくされた。今後、状況をみて定期的開催し、保護者同士の連携を支援していく。また、親子参加型のイベントも企画していく。今年度からは野球紅白戦や練習試合にも参加し、公開していく。
	㉕ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・速やかに対応している。	苦情処理委員会を設置している。苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、敏速に対応している。
	㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・月1回通信を発行している。 ・HPやチラシなどを活用している。	毎月通信及び号外等を必要に応じて発行し、すきっぷでの様子を発信している。

	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	100%			・個人情報を書かれた書類はシュレッダーにかける等処理を行っているが、溜まってしまっている時がある。	「個人情報利用の目的」に従い、取り扱いには細心な注意をしている。不要なデータや使用済みの書類などは施設内で溜めずにシュレッダーにかける等の処理を行うとともに、職員規定により施設外にデータを持ち出すことも禁じている。今後もより一層セキュリティー強化に努めていく。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・送迎の際、利用児の様子を伝えている。	送迎の際、できるだけ施設での活動内容や子どもの様子などを伝えている。また、特に重要な詳細については必要に応じて、連絡ノートや自宅訪問、電話連絡等を行い、今まで以上にご契約者様との関係構築に努めていく。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			・プライバシーの観点から難しい。	不特定の住民を招待するという点に関しては利用児へのプライバシーの配慮という点で難しく、セキュリティー上の問題から好ましくないと考えている。作品展を開催し地域住民の方へ公開する場を設けたり、町内のゴミ拾いなど地域貢献活動を行っている。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			・毎年4月に配布している。	新年度の緊急対応時マニュアルは4月に配布予定。今後も変更等が出た場合は敏速に情報公開していく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・定期的に行っている。	毎年2回、避難訓練(火災想定・地震想定)を行っている。それに加え、防犯訓練も行っていく。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・定期的に研修を行っている。	法人として2・5・8・11月に虐待防止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。また、同月に虐待防止研修を行っている。今後も継続し虐待防止に努めている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			・個別支援計画の特記事項に記載している。	契約時や必要に応じて契約時や面談時等にて説明している。また、個別支援計画特記事項にも記載している。法人として2・5・8・11月に身体拘束廃止委員会を開催しており、内容を事業所内にも周知している。

④②食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアレルギーの有無を保護者様から聞いている。 	<p>医師の指示書はないが、保護者様より対応について細かく指示を受けている。また、研修も行いスタッフ全員共通認識している。</p>
④③ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・共有し再発防止に努めている。 ・ヒヤリハットがなかなか出てこない。 	<p>ヒヤリハット事例集は作成済。また、起きてしまった場合は朝会や昼会にて引継ぎを行い、共有している。なかなか出てこない現状に対しては、全スタッフが提出しやすい環境を整備していく。</p>